

科目名/授業形態	ツーリズム論/対面
開講日程(学期・曜日・講時)	木曜日 3講時
担当者	春日雅司

副題	スコットランドに学ぶ		
授業の到達目標	ここでは「ツーリズム」という言葉の意味や由来について学び、後半はスコットランドの旅を楽しんでいただきながら、「地方消滅」などと騒がれているわが国の地域活性化に「ツーリズム」をどう役立てていったらいいのか考えます。		
授業の概要	観光とかツーリズムといわれる行動や現象について考えていきます。すでにもうたくさん旅行しているとか業界で働いてきた、あるいは将来もっと旅行したいとか業界で働きたいとか、立場はいろいろかと思います。そのような立ち位置の違いをある程度考慮しながら、観光やツーリズムにかかわる人々の行動や現象をみていきます。概念などは避けて通れませんが、具体的には、私が長年かわり関心を持っているイングランドやスコットランドを事例としてとりあげます。国内に関しては、とりわけ農村部の地域活性化策として早くから観光やツーリズムの重要性が謳われてきましたが、しかし必ずしもうまくいかなかったといえます。その理由と今後どうすればいいのか、「田舎」の魅力とその活性化に向けたツーリズムのあり方についても考えていきます。		
授業の計画	第1回【10/2(木)】	「観光」と「ツーリズム」について考える	
	第2回【10/9(木)】	「モノ(風景)」と「コト(体験)」の発見	
	第3回【10/16(木)】	「ツーリズム」はどこで、いつ始まった？——イングランドにおけるツーリズムの展開	
	第4回【10/23(木)】	スコットランドがツーリズムの対象として注目された理由と歴史	
	第5回【10/30(木)】	スコットランドにおける「ウイスキー・ツーリズム」の現状から学ぶ	
	第6回【11/16(木)】	「ツーリズム」とどう向き合うか？	
評価方法	評価項目	配分(%)	評価の観点
	中間簡易テスト(レポート)	60%	積極性と協調性(主張もするが他の人の見解にもしっかり耳を傾けること)
	最終簡易テスト(レポート)	40%	みなさんひとりひとりの経験にもとづいてしっかりまとめているかどうか。
	授業の達成度		ハウツーものでもありませんし、何か特定の技能を獲得するというものでもありません。それぞれが自分の中で「そうか」といった気づきを感じていただくことが大切です。
履修生へのメッセージ	みなさん、「旅」は子供のころから家族・学校・友達などいろいろな形で体験し本やメディアを通じて経験しているでしょう。でも、今後仕事に邁進していけばいくほどこれまで以上に深化/進化した形の「旅」が必要となります。「旅」することの体験や経験は個人差が大きいのですが、それを学問的に学びなおしてみること、これからの人生を楽しく充実したものにしていただきたいと思います。		
教科書			
参考書	春日雅司, 2020, 『スコットランド——ウイスキーとツーリズム』彩流社		